

# 東京病院ニュース

## 第44号



発行元 独立行政法人 国立病院機構 東京病院  
〒204-8585 東京都清瀬市竹丘3-1-1  
TEL 042 (491) 2111 FAX 042 (494) 2168  
ダイレクト・イン・ダイヤル 042 (491) 4134  
ホームページ <http://www.hosp.go.jp/tokyo/>

## 新年に寄せて

国立病院機構東京病院院長 大田 健



年末からの異例の9連休を経て、心身ともに十分リフレッシュして新年を迎えております。今年は午年ということで、駿馬のようにしっかりと大地を蹴って、理想に向かって疾走したいと張り切っているところです。東京病院に赴任した一年目に感動した四季折々の自然の移ろいとして、桜の花から始まって、カルガモのヒナの成長、生い茂る夏草、秋の紅葉、ひっそりと咲く寒椿、古木に咲く見たこともないスケールの梅、きれいなピンク色に咲く桃、真っ白いこぶしの花が裏切ることなく二年目もまた繰り返され安心と元気をもらいました。

恵まれた自然と設備の整った立派な建物、素晴らしいスタッフの揃った当院は、もっと社会に認知され、広く利用されなくては“もったいない”と強く感じながらいろいろな方策を考え実行して参りました。今年は、昨年発足した東京病院地域医療連携推進委員会を当院が地域医療に貢献するための中枢組織として安定させ発展させたいと考えております。連携医の先生との関係をより緊密にして当院をしっかりと活用していただける体制をさらに整備して参ります。清瀬市、東久留米市、東村山市、小平市、西東京市、所沢市、朝霞地区の各医師会長、医師会推薦で担当される理事の先生、そしてこれまでの医療連携会で世話人を務めていただき本会の委員をお引き受けいただいた諸先生に本会の設立と今後の運用について多大なご協力をいただき深謝申し上げます。

当院では二年前から診療科を4つのセンターに群分けして運用しております。呼吸器センター、喘息・アレルギーセンター、消化器センター、総合診療センターです。呼吸器センターは伝統を生かして、結核とともに肺癌、COPD、肺感染症、間質性肺炎や喀血などの診療について、内科と外科が連携して充実した診療を行っております。高齢化社会を反映して肺癌をはじめとする悪性腫瘍の増加が明らかな現状を踏まえ、当院で症例数の多い肺癌については拠点病院の協力病院としての位置づけとして機能できるよう整備して参ります。その他の領域でも大腸癌、胃癌、膵癌を初めとする消化器領域の癌、前立腺癌などについてもしっかりとした対処が出来る体制にありますが、さらに充実を図ります。外来化学療法室も新たに開設し、遅くとも春には運用を軌道に乗せる計画です。喘息・アレルギーセンターは難治性喘息への専門的対処を持ち味にしています。消化器センターでは、内視鏡による検査や治療、手術や薬物治療など充実した内容の診療が行われています。総合診療センターでは、リハビリテーション科の回復期リハビリテーションが順調に運用され、循環器内科、神経内科、整形外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、眼科も着実に診療実績をあげております。

当院は、今年の4月からDPC対象病院に参入致します。医療の質を一層高め効率の良い診療の実行を目指して、病院としての理想像に少しでも近づけたいと考えています。自分や家族が受診したい病院、患者さんにとって快適で充実した医療を受けられる病院を目標に、全力で職責を果たす所存です。引き続きどうぞよろしくご支援のほど、お願い申し上げます。

平成26年早春

# 年 男 年 女

## 「年男を迎えて」

呼吸器内科医長 益田 公彦

東京病院にきて15年目になり、この間に呼吸器疾患の治療はとて進歩しました。患者さんとともに呼吸器疾患にたずさわって、胸腔鏡検査と血管内塞栓術を立ち上げて参りました。2011年に開設した喀血専門外来には関東全域から患者さんが見えになるようになりました。これからも喀血治療について日本だけでなく世界に向けて発信して参ります。どうぞ皆様におかれまして良い年となりますよう。本年もよろしくお願い申し上げます。

## 「年男を迎えて」

管理課職員係長 吉田 大助

新年明けましておめでとうございます。平成10年に19歳で採用されてから、社会人として2回目の年男を迎えました。前回の年男の時には、若手と思っていたこともあり猪突猛進で行動しておりました。12年の歳月が過ぎ、3回の転勤を経験し、もう若手とは言えない年齢になりました。今年は「午」の様に広い視野を持ち、馬が合う仲間達と共に業務に励みたいと思っております。

皆さんにとって良い一年となるよう、お祈り申し上げます。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

## 「新年のご挨拶」

リハビリテーション科理学療法士 小沼 俊介

新年あけましておめでとうございます。2007年度入職から約7年経ちます。その間様々なことがありましたが、なんとか今のままで生き残り、こうして年男を迎え感無量な気持ちでいっぱいです。リハビリ部門は今年度の4月から回復期病棟を開設し、来年度は設備・人員ともさらに充実したものになるよう準備を進めているところですのでご期待ください。皆様にとって幸福多き年となるようお祈りしています。

## 「今年の目標」

5西病棟 大工原 慈仁

あけましておめでとうございます。平成18年に入職した後、8回目の年明けを迎える事になりました。今年で36歳になります。年男といっても、これまで干支を強く意識した事はなかったのですが、先日後輩に「干支が同じです。」と言われたのは初めての体験であり、私にとって年齢・立場を再認識する衝撃的な出来事でありました。学ぶべき事や目標とすべき事は多々あるのですが、本年は人と人をつなぐ「言葉」を特に大切にすることを目標としていきたいと思っております。

## 「もうすぐ3年目」

4西病棟 森 早希

就職してからもうすぐ3年目を迎えようとしています。入職時は自分の仕事に必死になっており、周りが見えていませんでしたが、現在は少しずつ周りが見えるようになってきたと感じます。12月よりリーダー業務もはじまるため、チーム内で声を掛けあい、リーダーシップがとるようにしていきたいと思っております。また、チューターとしては、積極的に新人を支援していき、委員会や係りの仕事も積極的に取り組んでいきたいと思っております。

## 「2014年の抱負」

6西病棟 佐藤 結

素敵な先輩方や同期、後輩に恵まれ、あっという間に過ぎた2013年でした。日々勉強の毎日ですが、少しずつできるようになったことやわかるようになったことも増え、看護師という仕事の楽しさやおもしろさを感じながら働くことができています。その反面、責任の重さや自分の未熟さを痛感している毎日です。

今年看護師3年目の年になります。まだまだわからないことや勉強しなければいけないことはたくさんありますが、患者さんが安心して検査や治療にのぞめるよう、疾患や治療についての知識を深め、日々精進していきたいと思っております。同期や新しく入ってくる後輩と一緒に成長していきたいと考えています。2014年も、今年も充実した1年だったなと振り返ることが出来る様な1年にしていきたいです。よろしくお願い申し上げます。

## 第30回肝疾患患者談話会を開催しました

消化器内科医長 上司 裕史

平成25年9月27日に、肝疾患患者談話会が開かれました。平成19年（2007年）に始まったこの会は、今回で30回を迎えることとなりました。今回は26名の患者様にご出席頂き、2題の講演とそれに対する質疑応答また肝疾患についてのご相談等をさせていただきました。青木和浩総合診療センター部長（循環器内科）が、『肝疾患と生活習慣病』との演題で、生活習慣から来る肝臓病である非アルコール性脂肪性肝炎について、さらに上司（かみつかさ）が、肝硬変の重要な合併症である『食道静脈瘤について』のお話をしました。今回はいずれもやや難しい内容であったにもかかわらず、皆様ご熱心にお聴きいただきました。

また、肝臓病に関するご相談は、野口一彦栄養管理室長と上司の二人で対応いたしましたが、これも大変多くのご質問を頂戴しました。皆様ご自分やご家族のご病気について、如何に悩んでおられるか、心配されているか、このような機会がある度に感じております。この会がここまで来られたのは、そのような皆様の思いによるところが大きく、この場を借りて皆様に感謝申し上げます。また、まだおいで頂いたことがない患者さんも、是非お気軽にご参加ください。

今後とも肝疾患患者談話会をよろしくお願い申し上げます。



青木総合診療センター部長の講演



上司消化器内科医長の講演



## 新任のご挨拶

病理科 木谷 匡志

今年度11月よりこちらでお世話になります木谷匡志と申します。肺癌やびまん性肺疾患などの呼吸器疾患の病理をおもに専門にしています。内視鏡検査や手術で得られた検体を用いて、病理学の観点から患者さんの診断に日夜関わっています。そのほか病理解剖にも携わっています。今後ともよろしくお願い申し上げます。





## 連携医紹介



### 山口内科呼吸器科クリニック

院長 山口規夫 先生

標榜科 内科 呼吸器科

平成9年から東久留米西口近くにて診療を行っており、いつの間にか16年もたってしまいました。滋賀県で生まれ、中学高校は仙台、大学時代は東京、勤務医時代は静岡が長かったのですが、東京の多摩地区での生活が人生の中で一番長くなってしまいました、やっぱりいつの間にかという感じです。

病院に勤めているころは呼吸器内科医として一生懸命診療をしていたような記憶がありますが、平成9年からは一般内科診療を行っています。最近ではようやく自分でできる範囲とそうでない範囲が判断できるようになり、自院での診療はもとより、地域の他の医療機関を病院・診療所を問わずに利用しながら患者さんのお役に立てるようになってきたのでは、と考えています。

私自身が年をとっていくにつれ、開院当初からお見えになっている患者さんも老齢となっておられます。これからは、“おなじみさん”への訪問診療を行いながら、あまり一生懸命にならず、頑張らずに、地域の診療所という役目を果たしていければと考えています。

地域の病院や診療所の先生方、市民の皆さん、今後ともよろしく申し上げます。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~1:00	○	○	○	○	○	○	×
午後 3:00~7:00	○	×	○	○	3:30 ~	×	×

《受付時間》 診療終了30分前までとさせていただきます

《休診日》 火曜土曜午後、第三金曜日午後、日曜祝日

所在地：〒203-0053 東京都東久留米市本町 3-12-2

連絡先：TEL 042-472-2386

## 第9回東京病院連携交流会を開催致しました

地域医療連携部長 廣瀬 敬

平成25年12月10日（火）19時30分～第9回東京病院連携交流会を開催致しました。お忙しい中、多数の先生方、医療スタッフの皆様方にご参加頂き誠に有難うございました。東京病院連携交流会は、前回までは連携医の先生方のみをお誘いしておりましたが、地域の医療機関とのより密接な連携をとるために、今回より北多摩北部2次医療圏の清瀬市、東久留米市、東村山市、西東京市、小平市、および所沢市、朝霞地区医師会の先生方にお声掛けし、新しい形で開催させていただきました。

大田院長の開会の挨拶ではじまり、「感染症」をテーマに「高齢者肺炎」のタイトルで永井外来診療部長より、「『ピロリ菌』国民総除菌時代を迎えて」のタイトルで田中内視鏡室長より講演致しました。活発な質疑応答もあり、感染症への先生方の興味の高さを感じました。先生方の日常診療にお役立ていただければ幸いです。

診療科紹介としては、始めてご参加いただいた先生方、医療スタッフの皆様方も多数いらっしゃったため、当院全15科の診療科長より各科の紹介をさせていただきました。最後に今回の開催に際し、御尽力いただいた平野清瀬市医師会長の閉会の挨拶で盛会裡に閉会しました。

講演会終了後は、人気ドラマ「ドクターX～外科医・大門美知子～」の撮影現場にもなった当院食堂に場所を移して懇親会を開催し、楽しく意見交換をしました。ご指摘いただいた点に関しては、真摯に受けとめ改善していきたいと思っております。

次回の第10回東京病院連携交流会は、平成26年6月10日（火）に開催し、「呼吸困難」をテーマとして「心不全」、「気管支喘息」の講演を予定しております。多数の方にご参加いただければ幸いです。



永井外来診療部長の講演



田中内視鏡室長の講演



懇親会の様子

## 第2回東京病院市民公開講座を開催しました

統括診療部長 小林 信之

本年度の第2回市民公開講座は、12月8日（日）に東京病院大会議室にて開催されました。年末の慌ただしい日曜日ということで、参加人数が心配されましたが、当日は65名の方にご参加いただき、活発な質疑応答が行われました。

まず、大田院長のご挨拶ではじまり、講演①では循環器内科の青木和浩総合診療センター部長より、「狭心症・心筋梗塞の予防、検査、治療について」というタイトルで、狭心症と心筋梗塞の病態、症状、危険因子、検査、治療（薬物、カテーテルインターベンション、食事、運動療法）についてのお話がありました。とくに、心臓超音波検査、心臓冠動脈造影CT検査、心臓カテーテル検査では動画を用いてわかりやすく説明をされました。

講演②では泌尿器科の山中優典医長より、「排尿障害について」というタイトルで、とくにその原因として頻度の高い、前立腺肥大症と過活動膀胱を中心に、その症状、検査法、内視鏡所見、手術・治療法について、わかりやすくお話をされました。さらに、前立腺癌の検査、診断法についても触れられました。

両講演とも講演時間はやや短い印象でしたが、その分、会場の皆様からたくさんの質問をいただき、活発な講演会になったと思われまます。とくに排尿障害については大勢の中では質問しにくいのではないかと懸念しましたが、普段から疑問に思われていることやご自身の受診体験からくる疑問点を素直に演者に尋ねる姿がみられ、患者さんや市民の方の感じ方、考え方を知ることができました。

前回の市民公開講座に比べて参加人数は少なかったのですが、活発な質問とともに和やかな雰囲気の中、会を終えることができました。

庄司副院長の閉会のご挨拶では、来年2月1日の東京病院祭について言及されました。その病院祭のイベントの1つとして、「肺がん」をテーマとした講演会を予定しています。講演後のアンケートでは今後の市民公開講座のテーマ、運営等について、貴重なご意見をいただきました。皆様のご意見を参考として、よりよい市民公開講座を計画していきますので、どうぞご期待いただきたいと思います。



講演①狭心症・心筋梗塞の予防、検査、治療について



講演②排尿障害について



## 平成25年度災害訓練を実施して

耳鼻咽喉科医長 田中 好太郎

(日本DMAT隊員・平成25年度災害訓練準備責任者)

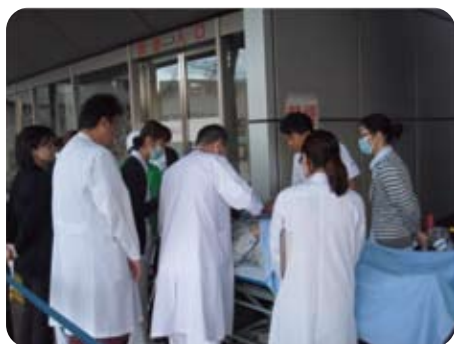
当院では、平成25年12月17日に災害訓練を行いました。本稿を通じて、当院が災害訓練を行うことの背景と、訓練の内容について、少しでもお伝えできることができればと思います。

内閣府が公開している防災基本計画によると、独立行政法人国立病院機構は、負傷者が多人数にのぼる場合を想定し、応急救護用医薬品、医療資機材等の備蓄に努めるものとされています。また、地域の実情に応じて、災害時における拠点医療施設となる災害拠点病院等を選定するなど、災害発生時における救急医療体制の整備に努めなくてはなりません。

当院は現在、国立病院機構に34を数える災害拠点病院のひとつであり、国の防災基本計画に参加し、国立病院機構の防災業務計画に従う責務があります。ヘリポートの整備や食料、飲料水、医薬品、非常電源用燃料の備蓄等の充実に努めています。災害拠点病院の役割・機能については、東京都の防災計画により、主に重症者の収容・治療を行い、必要に応じて、病院前トリアージを行い、重症者の受入機能を確保するよう定められています。そのため当院は、多数の傷病者の診療にあたることを可能とする人的能力を備えることも求められます。人的・物的両面において、災害時の医療対応能力を検証し、その向上をはかるために、当院は、定期的に災害訓練を行う必要があります。

今回の訓練では、災害訓練をフェーズ（局面）により分け、2つのフェーズとしました。フェーズ1では、災害対策本部の設置、各部署からの被災状況の報告、職員登録の実施、災害時新設部門の立ち上げを行い、人員配置・物品搬送を確認しました。フェーズ2では、模擬患者に登場いただき、設置部門をまわっていただきました。大田健病院長と小松崎知子看護部長が、みずから患者役として、トリアージ→災害時新設部門で初療→病棟／帰宅という患者さんの動線を確認しました。訓練の放送が始まってから2時間のあいだ、多くの職員が、災害対策本部と現場指揮本部の指示のもとに、それぞれの持ち場で活躍されました。

訓練の意義は、参加者一人一人が、「自分たちはできる」という自信を持つことができるところにあります。今回の災害訓練で参加した職員が、日常業務にはない非常事態の雰囲気に触れ、非常事態でも対応できる自信を、ほんのすこしでも日常業務のなかに持ち帰っていただくことができれば、と祈っています。当院は地域の中核病院として、地域の皆様を疾病から守るべく、平常時の診療のみならず、震災のような非常事態にも対応できるよう努力しています。



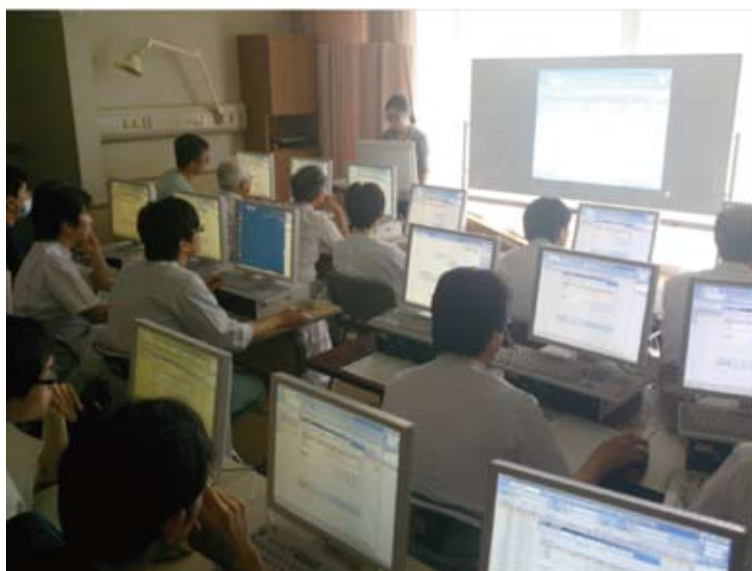
## 新しい電子カルテが動き出しました!

I T推進部長 渡邊 宏樹

2013年10月1日火曜日より、東京病院の電子カルテシステムが新しくなりました。診療サービスの向上、医療の質や医療安全の向上、業務のより一層の効率化をはかるための刷新ではありますが、稼働当初にはシステムの違いによる相応の混雑、混乱が生じたことをまずはお詫び申し上げます。

今回は競争入札の結果、富士通を筆頭ベンダとする電子カルテシステムを導入することとなり、また成果を早々に得るために開札から稼働までの期間は国内最短レベルでの導入を行いました。導入期間の当初1ヵ月のワーキング・グループなどの打ち合わせ回数は72回に及び、また8月の操作研修は2時間×54枠を実施し多数の職員が参加し、8月31日土曜日の初回りハーサル、その後の第2回りハーサル、そして2週間の並行稼働期間と続き、10月1日の新システム本稼働となりました。2013年1月の着任以来、電子カルテの更新導入プロジェクトに多大なる尽力をいただき、かつ暖かく見守り励ましていただいた東京病院職員の皆さま、また最短納期を果たしていただいたベンダ担当者の皆さまに、この場をお借りして深謝申し上げます。

新しい電子カルテシステムの特徴は、1) 先進的かつこれからの標準となる電子カルテシステム、2) 文書と画像を統合的に大切にするシステム、3) 臨床研究の基盤となるシステム、であります。上述のように富士通製の最新の電子カルテシステムを導入いたしました。首都圏で当院と同規模以上の病院のおよそ半数のシェアを持つ電子カルテシステムであり、十分な機能を備えております(医療従事者にとっての使い勝手は必ずしも十分ではない面もありますが、現実的な折り合いも必要ということで院内の理解をいただきました)。単なるオーダリングシステムにとどまらず、二重・三重のチェック機能を備えさらなる医療安全に貢献し、また電子クリニカルパス機能やレジメン機能、データウェアハウス機能など先進かつこれからの標準となる電子カルテ機能を導入できましたので、多面的に病院運営に貢献する電子カルテシステムとして真に機能できるよう、引き続き対応を進めて参ります。



操作研修のようす



# クリスマスコンサート報告

入院係長 中澤 光



12月18日(水) 15時より1時間ほど、当院1階の外来ホールにてクリスマスコンサートを開催しました。オペラの名門である二期会に所属されているソプラノ歌手の「小菅 文さん」、ピアニストの「山田 希乃さん」のお二人をお迎えして全14曲のクリスマスコンサートを行いました。

7曲目の『見上げてごらん夜の星を』と最後の曲『きよこの夜』は、患者さんや職員も一緒に歌う合唱として盛り上げ、コンサートの暖かな雰囲気をみんなで共有しました。

途中スペシャルゲストとして小林統括診療部長がサンタクロースの衣装をまとい、契約係の藤田、給与係の佐藤の二人がトナカイにふんして登場し、会場を盛り上げました。

外来患者さんのみならず、病棟からは入院患者さんもお越しいただき、皆さんちょっと早いクリスマスの気分になられたようでした。



## 第3回 東京病院 病院祭開催のお知らせ

平成26年2月1日(土)に第3回東京病院病院祭を開催いたします。

今回は特別ゲストとしてミスター・サマータイム、アメリカンフィーリングなどのヒット曲でおなじみのサーカスさんをお迎えしてのライブショーやヴァイオリンとピアノによるクラシックコンサートなど楽しいイベント盛りだくさんです。

毎年好評の無料健康相談、お薬相談、栄養相談、骨密度測定、血管年齢測定に加え、今回は新たに肺年齢測定も行います。

皆さまお誘い合わせのうえ、多数の方のご参加をスタッフ一同お待ちしております。

日時：平成26年2月1日(土)

午前11時～午後4時

場所：東京病院 外来ホール他

健康は心と体のハーモニー  
～もっと知ろう！東京病院～

国立病院機構 東京病院

第3回

# 病院祭

平成26年  
**2月1日**  
**土**

午前11時～午後4時

講演 「肺がんのお話」  
地域医療連携部長 廣瀬 敬  
午後11:20～正午

Live

クラシックコンサート  
ふみっちーの  
午後0:45～午後1:45

ライブショー  
特別ゲスト：サーカス  
午後2:00～午後3:00

**無料体験**

- 骨密度測定 (250名)
- 血管年齢測定 (300名)
- 肺年齢測定 (80名)

※整理券を11時より受付で配布します。

**放射線装置見学ツアー**  
(正午、午後3:00ツアー開始)

介護用品紹介  
各種出店 (北海道産品、焼きたてパン販売 etc)

職場紹介ポスター展示

お菓子つかみ取り (小学生以下)

**健康相談**  
お薬相談  
栄養相談

当日 駐車場 無料

主催 独立行政法人国立病院機構 東京病院  
住所 東京都清瀬市竹丘 3-1-1  
お問い合わせ 042-491-2111

東京病院 検索

大ヒットドラマ  
ドクターX 最高視聴率26.9%  
Dr.DMAT  
ロケ地はここだ!

診療内容 病床数560床

- 呼吸器センター
- 喘息・アレルギーセンター
- 消化器センター
- 総合診療センター
- 呼吸器内科
- アレルギー科
- 消化器内科
- 総合内科
- 整形外科
- 呼吸器外科
- 眼科
- 消化器外科
- 循環器内科
- リハビリテーション科
- リハビリテーション科
- 耳鼻咽喉科
- リハビリテーション科
- 神経内科
- 泌尿器科
- 放射線科
- 皮膚科
- 放射線科
- 放射線科
- 緩和ケア内科
- 緩和ケア内科
- 臨床検査科
- 歯科

**受付時間：初診 8:30～14:00 (消化器内科の月、金は12:00までの受付)** **予約センター 042-491-2181**  
**再診 午前の診療 8:00～11:00 午後の診療 12:30～14:00 (受付時間平日8:30～15:00まで)**

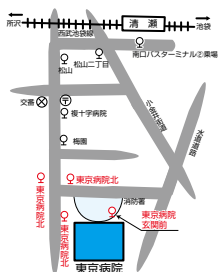
専門外来案内

専門外来名		診察日	このようなことでお悩みの方は、ご相談ください
呼吸器関係外来	禁煙(予約制)	火(午前)	タバコがどうしてもやめられない方。 (当院の禁煙外来は、平成20年1月より保険が適用となりました。)
	肺がんセカンドオピニオン(予約制)	木(午後)	肺がん治療についてのセカンドオピニオンを希望される方。 [1時間まで10,500円]
	喀血(予約制)	火(午後2時～)	咳をともなって気道・肺から出血する状態を喀血といいます。肺アスペルギルス症、気管支拡張症、非結核抗酸菌症、肺結核、肺癌の患者さんにおこります。ご相談ください。
	間質性肺炎	水(午前)	この病気は「息切れ」と「から咳」がよくある症状です。 治療が難しく、膠原病に合併する場合もあります。
	非結核性抗酸菌症	水(午前)	咳や痰が出て、血痰があるなど一見結核にみえますが違います。 結核とそっくりの症状がこの疾病です。他人への感染はありません。
	いびきCOPD(睡眠時無呼吸症候群の検査)	月～金(午前)	ご家族などから「いびきが大きい、長く続く」あるいは「ねている時に息が止まる」などと言われた方。COPDを疑われたり、COPD呼吸リハビリを御希望の方。
難治性喘息外来(予約制)	月(午後) 2時～4時	通常の喘息治療でうまく喘息がコントロールされていない難治性喘息の方。	
ものわすれ外来	水(午後)	最近ものわすれのひどい方、アルツハイマー病などが心配な方。 (あらかじめ神経内科を受診して下さい。)	
高次脳機能外来	木(午後)	失語・失行や健忘などの診断、リハビリテーションへの紹介など(要神経内科外来受診)。	
肝胆脾	金(午後)	肝臓癌、胆嚢癌、胆管癌、膵臓癌や胆石症など、肝胆脾疾患の手術のご相談、お申し込み、セカンドオピニオン等に、専門の医師が対応いたします。	
地域リハビリ相談	木(午前)	連携医の先生方からかかりつけの患者様で、運動・言語・嚥下機能に問題があり、リハビリテーションをご希望の方。(かかりつけ医の情報提供書が必要です。)	
白内障外来	木(午後) 13:30～15:30	白内障の診断、手術の相談、説明など、これから白内障手術を検討されている方の各種相談などを行っています。	

医療連携室よりお知らせ 患者様をご紹介いただく場合(医療機関)

外来診療の予約 : 診療依頼書をFAX送信して下さい FAX 042-491-2125 (8:30～15:30)  
 CT・MRI検査の申し込み: 医療連携室へお電話下さい TEL 042-491-2934 (8:30～17:15)

交通案内



交通

- 西武池袋線 清瀬駅南口よりタクシー5分、または南口バス2番乗り場より久米川駅行・所沢駅東口行は東京病院北下車、下里団地行・滝山営業所行・花小金井駅行は東京病院玄関前下車。(早朝夜間など東京病院玄関前を経由しない場合があります。)
- JR武蔵野線 新秋津駅よりタクシー10分、または西武池袋線に乗り換え。
- 西武新宿線 久米川駅北口より清瀬駅南口行で東京病院北下車。または花小金井駅北口より清瀬駅南口行きで東京病院玄関前下車。(早朝夜間など東京病院玄関前を経由しない場合があります。)
- JR中央線 武蔵小金井駅より清瀬駅南口行のバス路線があります。
- 東武東上線 志木駅南口より清瀬駅北口行のバス路線があります。
- お車でお越しの際は正面よりお入り下さい。  
 (駐車場265台)  
 30分以内 無料  
 31分～4時間 100円  
 以後1時間毎 100円  
 (20時15分～7時 1時間毎300円))

WEB検索

東京病院

検索

